安芸太田町小規模出荷農業者認定申請書（新規・更新）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

　　安芸太田町長　様

（団体の場合は所在地、名称及び代表者名）

申請者　住所　安芸太田町大字

 　　　　　　　　　　　　　　　氏名 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

 　 　　　　　　　　　　　　　　（生年月日：　　　年　　　月　　　日）

　安芸太田町農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想及び安芸太田町独自小規模出荷農業者認定に関する要綱の規定に基づき、下記の通り安芸太田町小規模出荷農業者の認定を申請します。

　なお、安芸太田町長及び安芸太田町農業委員会長が行う認定要件の審査において、個人情報の確認作業を行うことについて、同意します。

|  |
| --- |
| 小規模出荷農業者生産販売計画 |
| 申請モデル | □**Ⅰ型**　**年間目標収入 50万円　経営規模５a**□**Ⅱ型**　**年間目標収入100万円　経営規模10a** |
| 営農（予定）地（代表的な農地） | 所在地 | 所有者 | 続柄 | 面積（a） |
| 安芸太田町大字 |  |  |  |
| 　　　　〃 |  |  |  |
| 　　　　〃 |  |  |  |
| 　　　　〃 |  |  |  |
| 　　　　〃 |  |  |  |
| 　　　　〃 |  |  |  |
| 　　　　〃 |  |  |  |
| 目標耕作面積 | 計　　　　　　a |
| 就農形態 | □新たに農業経営を開始□引き続き営農を同規模で継続（親族の農業継承を含む同規模での継続）□生産規模や新分野の拡大（親族の農業継承を含む）□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 営農計画の概要や意欲（どのような営農を行って行きたいか） |  |
| 農産物等生産計画 |
| 現状(　　　　　年)前年実績 | ３年後の目標（　　　　　年） |
| 作物名 | 形態 | 面積（a） | 数量（kg） | 作物名 | 形態 | 面積（a） | 数量（kg） |
|  | 露地ハウス |  |  |  | 露地ハウス |  |  |
|  | 露地ハウス |  |  |  | 露地ハウス |  |  |
|  | 露地ハウス |  |  |  | 露地ハウス | 　　 |  |
|  | 露地ハウス |  |  |  | 露地ハウス |  |  |
|  | 露地ハウス |  |  |  | 露地ハウス |  |  |
|  | 露地ハウス |  |  |  | 露地ハウス |  |  |
| 主な農産物等の現状と今後の品目・出荷・販売の計画 |
| 現状の出荷販売実績(　　　　年) | ３年後の出荷販売目標（　　　　年） |
| 品目 | 出荷・販売先 | 金額（円） | 品目 | 出荷・販売先 | 金額（円） |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 合計出荷・販売金額 |  | 合計出荷・販売金額 |  |
| 農業に関する主な経歴 |
| 内容 |  |  |  |
| 従事期間 | 約　　　年間 | 約　　　年間 | 約　　　年間 |
| 取得資格等 |  |
|  所有する主な農業施設・農機具の一覧及び今後の整備等の計画（　　　） |
| 現状所有(　　　　年) | 目標（　　　　年）までに購入等を予定するもの |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 技術・知識の習得状況 |
| 研修先等の名称 | 研修期間 | 研修内容 |
|  | 　　年　　月～　　　年　　月 |  |
|  | 　　年　　月～　　　年　　月 |  |
|  | 　　年　　月～　　　年　　月 |  |
| 申請者が団体の場合、構成員の氏名、役職、住所（申請者が個人の場合記載不要） |
| 氏名 | 役職 | 住所 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

１　団体にあっては、申請者の住所・氏名欄に団体の所在地、団体名及び代表者名を記載する。

**記載要領**

２　**申請モデルについて、Ⅰ型かⅡ型のどちらか選択し□にレを記載する。**

３　営農（予定）地

 営農している（する予定）の農地の所在地を番地まで記載し、所有者、面積を記載する。

　　書ききれない場合は、代表的な農地を記載する。

４　目標耕作面積

　　申請モデルの経営規模を満たす目標耕作面積を記載する。

５　就農形態

就農形態欄には、該当する就農形態の□にレを記載する。

ア　「新たに農業経営を開始」は、親が農業経営を行っていない者が、新たに農業経営を開始する場合とする。

イ　「引き続き営農を同規模で継続」は親（三親等以内の親族を含む。以下同じ。）の農業経営を同じ規模で継承する場合選択する。

ウ　「生産規模や新分野の拡大」は、引き続き営農を継承するが生産規模を拡大する場合に選択する。また親の農業経営部門とは別の部門へ新たに農業経営を開始する場合とする。

エ　「その他」は他に属さない形態の場合に選択し、カッコ内に記載する。

６　営農計画の概要や意欲

　　どのような営農を目指すか、簡潔に記載する。また営農への意欲について記載する。

７　農産物等生産計画

現在、生産・製造する作物や加工品等がある場合は、現状に前年実績を記載する。

数量についても分かる範囲で記載する。

３年後の目標には今後予定する作物を記載する。水稲があれば含めて記載する。

８　主な農産物等の現状と今後の品目・出荷・販売の計画

　　現在、出荷販売がある場合は、品目と販売先を記載する。

　　３年後の目標にも、予定する品目と販売先、販売高の予定を記載する。

なお**販売高は、申請モデルの年間50万円、若しくは年間100万円を超える必要がある。水稲のみの記載は、認定対象外とする。**

９　農業に関する主な経歴

　　親族を含む自家農業の従事期間があれば記載する。

農業に生かせるような資格を取得したものがあれば記載する。

10　所有する主な農業施設・農機具の一覧及び整備等の計画

　　現在所有する主なハウス等の農業施設や農機具を記載する。

　　３年後までに新たに整備したい農業施設や農機具があれば記載する。

11　技術・知識の習得状況

　　研修等の受講を受けている場合に記載する。

　　例：農業高校、農業大学校、ＪＡ等民間研修教育施設、先進農業者等における教育・研修等。

12　申請者が団体の場合、構成員の氏名、役職、住所

　　申請者が個人の場合は記載不要。

ア　法人の場合には役員の氏名、役職、住所を記載する。

イ　法人格のない団体の場合、構成員３名以上の氏名、役職（代表、会計等）、住所を記載する。